

## ゆうパック等配達業務効率化システムの試行について

### 1 概要

ゆうパック等配達業務効率化システムを導入し、オペレーション改善に向けた試行を実施する。

### 2 試行システムの概要

作業場面	現行	導入後
道順組立	配達担当者が紙の地図を基に道順を設定し、受入入力	受入入力と同時に AI が最適な道順を設定
配達中	紙の地図を基に配達	端末のナビに従って配達
持出荷物管理	配達ラベルにより管理	端末内の配達先データにより管理
対面配達時	配達証への押印又は署名により受領確認、配達証は帰局まで自身で保管	端末への電子サイン等により受領確認、受領データはサーバー上に保管
受領済配達証の取扱	局内に紙で保管、確認が必要な場合は保管場所から取り出して確認	サーバー上にデータで保管、確認が必要な場合は検索して確認

※具体的なイメージは別紙のとおり。

### 3 試行実施局

豊科及び諏訪郵便局

### 4 試行期間

2020年8月17日(月)以降準備出来次第 ～ 2021年3月31日(水)

### 5 その他

試行システムの活用方法及び操作方法については局別に研修を実施。(8月上旬を予定)

## 【現在の業務方法】



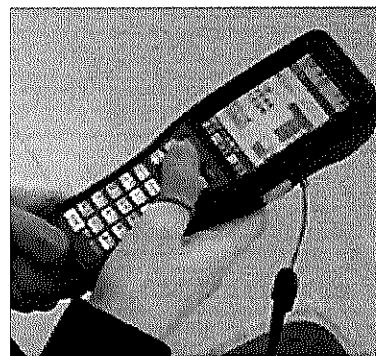
### 専用端末

日常生活で使用することのないデバイスであり、初心者にとって業務以前のハードルになる。



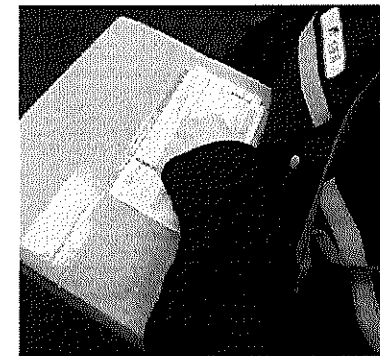
### 道順組立

紙ベースの住宅地図に配達先をプロットして、自身で道順組立。配達先までは覚えた道で移動  
ベテランのカン・コツ・ケイケン。



### 追跡登録・荷物管理

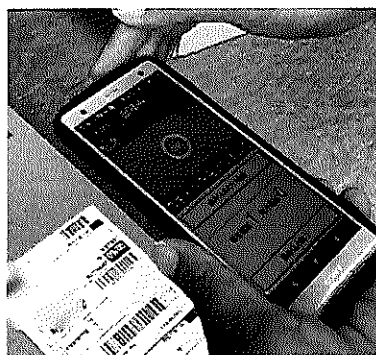
配達完了や不在などの登録・即時反映を行うが、配達先住所等の情報管理はできない等、UI・UX向上が必要。



### 紙の配達証

配達証整理やお客さま照会時の参照、保管・管理等の間接業務(ムダなコスト)が発生。また、紛失等のリスクあり。

## 【活用イメージ】



### スマートフォン

端末を汎用化することで初心者でも業務になじみやすい環境を創出。



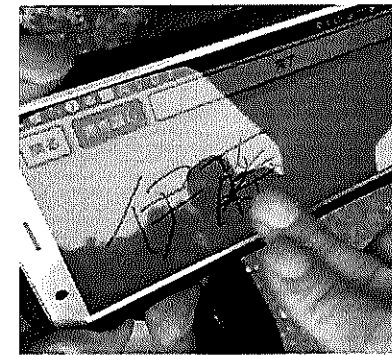
### ルーティング・ナビ

AIが自動で配送経路を提示。発送データ連携により、持出登録のみでルーティング可能。配達先まではナビで案内。



### 追跡登録・荷物管理

携帯端末同様、追跡情報の、即時反映が可能で、配達先の住所等の情報管理も可能。  
※ 基幹システムと連携が必要。



### 電子サイン

スマートフォン上でサイン受領が可能。紙を使用することによる間接業務(コスト)を削減可能。